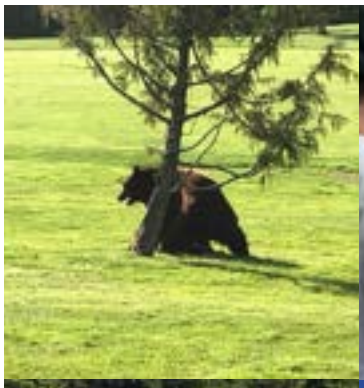
学校案内

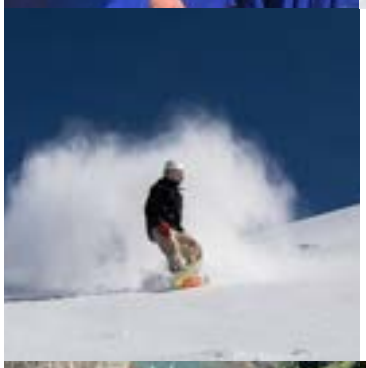
スポーツ留学専門学校

SNOWBOARD / SKI / SPORTS TRAINER / OUTDOOR & MTB / GOLF

Since 1996

Canadian Sports Business Academy





自分の未来を自分で創る力を

C O N T E N T S

校長インタビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
ＣＳＢＡの教育方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
生徒に合わせたサポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
スノースポーツプロフェッショナル（スノーボード）・・・・・・・・11
スノースポーツプロフェッショナル（スキー）・・・・・・・・・・・12
スポーツトレーナープログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
ゴルフプログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
語学指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
高校進学プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
ワーク・エクスペリエンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
年間スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
学校説明会＆カウンセリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

スポーツで考え方を学び、海外には実践できる環境があることを知った。行動を起こせばチャンスに巡り合う。そして活躍できる場所が他にもあると気付いた。

高校卒業後、ニュージーランドで仕事を始めた。

高校卒業後に大手里工業に就職しました。学生時代に野球部の寮に入り厳しい練習をしていた私は、自由な生活ができる喜びと同時に社会人として頑張っていこうという希望に満ち溢れ、新たな一歩を踏み出しました。

しかし、この頃は不景気で大手企業では残業もなく、予想していた忙しいビジネスマンというイメージとは正反対。のんびりした穏やかな事務所の中で、５時に帰宅する毎日の繰り返しでした。今思えば、まずは社会人としてゆっくりスタートできたわけですから恵まれていたのかもしれません。ただ、それまで厳しい練習で毎日を必死に取り組んできたため、なんとなく気が抜けてしまったわけです。

自分自身の人生はこれで良いのか？と自問自答することが増え、次第に人生これで終わりたくないと思うようになりました。会社の同じ部署には一流大学を卒業したエリートが多く、高卒の私がこれからの人生を歩んでいくために、どこかで差をつけることが必要だと痛感しました。

自分が勝てるものは何なのか？考えても答えは出ませんでしたが、もっと苦しいことに立ち向かって、肩の上に荷を乗せて歩くタイプだと言い聞かせ、思い切って海外に出ることを決心しました。家族の心配をよそに、人生をやり直すという気持ちで会社を退職し、３日後にはニュージーランドに向かっていました。

まず行動した。未来を描けるようになった。

ある面、鉄砲玉のような生き方をしていると言われますが、行動を起こさずに後悔はしたくないと思えるようになったのも、野球というスポーツを行ってきたからだと思います。甲子園を目指して厳しい練習を行った割に、あっさりと予選で 負けてしまった瞬間 、ぐっと寂しさが こみ上げ、もっと努力できたはずと振り返る自分がいました。二度とこんな思いはしたくないと思った瞬間でした。

海外に出てからは、苦労の連続ではありましたが、多くの方から叱咤激励され次第に自ら行動を起こすようになりました。ニュージーランド、シンガポール、マレーシア、タイ、ネパール、インドなどを回り、いろいろな文化を感じ、今まで見たこともない環境を体験しました。世界にはもっと自分に合っている場所がある、もっと活躍できる場所があると確信できたのも大きな収穫です。

世界を旅する中で、最も衝撃的で自分の人生を変えるきっかけになった出来事があります。ネパールのカトマンズのレストランで食事を終えて外に出た時、当時７～８歳の少年がタンクトップ一枚にお米の袋をかぶり立っていました。私がダウンジャケットを着ていたほどの気候です。可哀想になり、セーターを脱いで掛けてあげました。翌日同じ場所に行くと、またタンクトップ一枚で立っているのを見て、昨日あげたセーターは？と声をかけました。すると、古着屋さんに売って食べ物を買ったとのこと。地元の人に聞きましたが、彼は両親がいない孤児でした。その時、自分がどれだけ恵まれているのかを痛感しました。野球がきついとか、仕事にやり甲斐がないだとか、夢がないなどと言っていましたが、彼がもし日本で自分と同じ立場に生まれていたら、どれだけ幸せを感じるだろうと思うと、今までの甘えた自らの行動一つ一つが情けなく感じてきました。

中島　史朗（CSBA校長）

1964年生まれ。神奈川県相模原市出身。日本航空高校卒業後、旅行会社のカナダ現地法人を立ち上げ現地社長兼支店長に就任。旅行会社退職後、スポーツと英語を通じた人間形成を理念とする「CSBA」をウィスラーに設立。現在設立30周年を迎えています。
「大リーガーを育てる」等の著者。

夕日が沈み赤く染まったヒマラヤ山脈を見ながら、たった一度の人生、後悔しないよう思い切って生きよう、できることを精一杯やろうとその時決意しました。

スポーツで考え方を学んだ。

野球ではThinking Baseball（考える野球）
というテーマで常に考えて取り組むことを学びました。走れと言われて走っている際、監督から止められて「なぜ走っているんだ？」と尋ねられたことがあります。それまで走る理由など考えた事もありませんでしたが、意図を持って取り組む事で練習に対する姿勢が変わりました。何を目的に練習を行うのかを考える癖をつけることで、より身になるということを監督から教えて頂きました。

練習は嘘をつかないという言葉がありますが、私は練習も間違って行えば逆効果になり得ると思っています。私はゴルフの指導も行っていますが、特に一人で練習する機会の多いゴルフは、何も考えずに打ち続けた結果、正しいスイングに修正しづらくなるケースがあります。

スポーツも人生も目的と目標を明確にすること、目標は次の目標へのステップであることを理解しながら取り組むことが大切だと思います。

CSBA の学校設立には自分の経験がきっかけとなっている。

私の経験から得たものを伝えたい、共有したい。そんな思いから本校は始まりました。
“ 好きこそものの上手なれ”とは
よく言ったもので、野球に夢中だった学生時代、野球のことであれば積極的に聞き、調べ、メモを取り、一生懸命になる自分がいました。

その反面、興味のないことには全くと言っていいほど集中できませんでした。そんな実体験から、好きなスポーツなど興味のあることを題材にすれば、知識はもとより、物事への取り組み方など人生に必要な多くのことも学べるのではないかと思いました。そして、私が海外に出て重要だと痛感した語学やコミュニケーション、プレゼンテーション能力を学べるプログラムを提供できないかとも考えました。

更に興味のあることを実務経験を通して学ぶことも大切だと実感しました。私の場合、海外でツアーガイドをしている時、実践の場だからこそ得たことがたくさん
あります。例えば、実用的な英語やコミュ
ニケーション能力、そして何より仕事に対する責任感です。ツアーガイドは会社の顔。そういったプライドを持って働いていました。実務体験の場として、カナダはスポーツが文化となっており、あまり細かいことは気にせず、好きならやらせてあげようという寛大な考えのもと、スポーツに関係した実務経験の出来る環境が多くあります。とりわけ大自然と恵まれたスポーツ環境、そして世界から素晴らしい人々が多く集まるウィスラーは学びの場として最適だと思いました。

スポーツを追求しながら専門知識を含む多くのことを学ぶ。そして、学んだことを海外での実務経験を通して体得する。そう自らの経験で感じたことが、本校の設立のきっかけです。

未来を描くこと、思考力の向上が、スポーツの技術向上にも大変重要である。

夢を持つことが大切だとよく言われます。夢を持つことは人生の苦難に陥った時に乗り越えるパワーになります。

そして夢を持つことが未来を描くことにつながり、未来を描くことで、どうすれば夢を実現できるかを考え始めます。

私は少しでも多くの世界を見て欲しいと思っています。なぜなら限られた世界しか知らなければ、限られた発想しか浮かばないからです。実際にその場に行き、自分の目で見て、空気を感じ、人と触れ合うことでしか得ることができないものがあります。そういった経験を積み重ねることで新たな可能性に気付いたり、手の届かないと思っていたことが現実味を帯びていくということもあるでしょう。これが思考力を養い、未来を描く力につながると思います。思考力は問題解決力、判断力、そして豊富なアイデアを生む力になり、人生においてもスポーツにおいても向上するために重要な部分となります。

私は海外に出て30年以上になりますが、この年になっても世界を見ること、知ることで更に大きなチャンスがあると改めて感じています。これからの日本の未来を担う皆さんには、少しでも早く世界の扉を開けて欲しいと切に願っています。

CSBA の教育方針

“挑戦無くして、成功はありません。”

CSBA ACTION

CSBA では３つのアクションを大切にしています。

未来を描くこと

挑戦すること

継続すること

すべては自分の未来を自分で創る力を養うためです。

的確な目標設定

生徒全員が的確な目標を持っているわけではありません。
ＣＳＢＡでは目的と目標を明確にすることからはじめます。

生徒の目的、目標に合わせたサポートを最重要に考えています。

ワークプログラム

スノースクール、ガイド、スポーツジム、フィジオ、ベースボールキャンプ、ゴルフ場、その他スキー場を含むリゾート内で実務経験を行い、学んだことを実践的に習得します。

大会・遠征のアレンジ

ワールドカップ、ＦＩＳからローカルレベルの大会、ゴルフミニツアー、カナディアンオープン予選、資格試験、講習会など目的と生徒のレベルに応じた遠征を行っています。

カウンセリング

海外での長期滞在には、技術面、私生活のことなどで不安になることもあるでしょう。生徒のモチベーションをキープできるよう、定期的にカウンセリングを行っています。

ボランティア

ウィスラーでは毎月世界クラスの大会を含めた多種イベントが開催されています。ボランティア活動で地元の人達と交流し英語の習得、コミュニケーション能力の向上を図ります。

ウィスラーの環境を最大限に生かして、スポーツを通じて「社会人」または「アスリート」としての目標達成に向かって取り組みます。

生徒に合わせたサポート

スキーを追い求めて来たカナダ。ロードバイクで新たな感動を得る。

スキーインストラクター２年

櫻 木 静 奈

北海道の高校に進学しスキーを学び、卒業後にCSBAへ留学。１年目にCSIALevel 1 及び 2を取得し、スキースクールでの実務経験を行いながら２年目にLevel 3を取得。

▲辛かったバイクレースは、一生の思い出。

1年目に資格取得、スキースクールでの実務経験と充実した日々を過ごす中、シーズン半ばに転倒し膝靭帯断裂。手術を行い、辛いシーズンの幕切れとなりました。夏に行うマウンテンバイクは手術後の私には負担が大きく大変不安でしたが、校長から９月に行われるロードバイクレース”Gran Fondo”に出てみないか？ と提案され、最初は半信半疑でしたが、新しい目標を掲げ、もう一度頑張ってみようという気になれた瞬間でもありました。レースに向けて毎週６０キロのトレーニングを行いました。このレースはバンクーバーからの１２２キロ、海岸線の美しいコースですが、アップダウンの激しいコースとしても有名です。スタートして５時間弱、ウィスラービレッジゲートに入った時、今までの辛かった思い出が走馬灯のように蘇り、ゴールを間近に思わず涙が溢れてきました。カナダに来て、CSBA のスタッフと自分に合った目標を設定し、一つ一つハードルを超えてきました。今まで想像できなかったほど何事にも挑戦している自分を嬉しく思います。

生徒に合わせたサポート

スノーボードでの留学に、野球がここまで役に立つとは思わなかった。

スノーボードアスリート２年

奥野秀基

野球一筋の少年時代。そして敦賀気比高校野球部に入学。３年間甲子園を目指して厳しい練習に打ち込む。卒業後、一度は大学に進学するも、スノーボードの夢が捨てきれず、思い切ってカナダ留学を決意。

▲野球は世界共通、メジャーリーガーの教え。

入学前の学校長との面談時にカナダでのサポートに役立てられるよう目的や目標、特技などを確認して、カナダの環境を使って何ができるのかを話し合いました。その結果、野球の経験を活かしてメジャーリーグ出身のコーチたちが行っているベースボールキャンプのコーチをしたらどうかと提案していただきました。入学後の７月後半から８月末までウィスラーを離れベースボールキャンプが行われているオカナガン地方に一人旅立ちました。英語もわからず、野球の指導方法も学んだわけではありません。新しい世界に入るのは容易ではありませんでしたが、コーチの方々に助けていただき、次第に打ち解けていくことができました。朝のコーチミーティング、トレーニングメニューの確認など不慣れなことばかりでしたが、素晴らしい経験を積むことができました。英語は継続して学んでいきますが、まずは人と人とのコミュニケーションが大切であり、自らが行動を起こすことが重要だと痛感しました。この経験を生かして、これからの人生に役立てていきたいと思います。

生徒に合わせたサポート

一度離れた教育現場。でもやっぱり私は子どもたちに教えることが好き。

スノーボードインストラクター１年

時田昌美

小学校教師を経てカナダへ留学。カナダでも教育に携わりたいと考え、ウィスラーの地元の子どもたちに日本語教室を開く。

▲子どもたちの笑顔は世界共通。

私は日本で小学校教師をしていました。教師をしながら休みの日にはスノーボードを楽しんでいましたが、次第に海外でも滑ってみたいという気持ちが湧いてきて留学を決意しました。留学前からカナダでも子どもたちに何かを教えたいという希望を持っていた私は、CSBAのサポートのおかげでウィスラーの子どもたちに日本語教室を開くことができました。カナダと日本では国民性や文化の違いがあります。しかし子どもたちの笑顔は世界共通でした。忙しい毎日の中で毎週末に会う子どもたちからたくさんの元気をもらいました。

多文化主義のカナダでは、様々な人種が１つの社会を作り、文化、宗教、価値観が違う人々がお互いを認め合って生きています。また、私はこの留学で学んだことと、個を尊重するカナダの教育方針を今後の私の指導方針に取り入れ、日本での教育現場にも活かしていきたいと思います。

夏休みを利用して、隣のユーコン州へオーロラを見に行く生徒もいる。

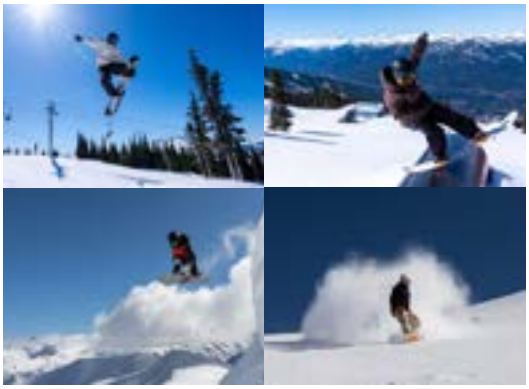
▲特定のスキル向上がスノーボードの上達といえるのでしょうか？

スノーボードプログラム

Snowboard Program

本物のライダーとは総合的なスキルの高いライダーを指しています。

北米最大級のスノーリゾートウィスラーブラッコムには 200 以上の多様な滑走コースや初心者からトッププロまでがレベルに合わせて練習ができる５つのスノーパーク、ハーフパイプの他に、ツリーゾーン、氷河エリア、バックカントリーゾーンが壮大に広がっています。また７月末まで滑れるシーズンの長さも魅力で、この総合的なスキルを学べる環境を求めて世界のトップライダーが集まり、トレーニングを行っています。



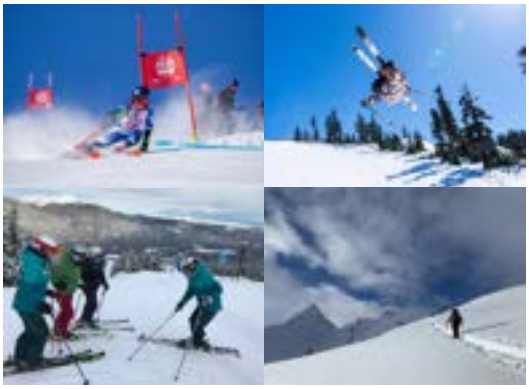
- ツリー、新雪、パーク、パイプなど総合スキル向上に必要な環境
- 資格取得とスノースクールでの実務経験で、英語での実践的な指導力を習得
- トップライダーの集まる環境で次代のスノーボーダーを育成
- スケートボードパーク、トランポリン施設の他、各種オフトレに最適な環境
- スノーボードを通して、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ インストラクター資格を取得すれば、指導者になれるのでしょうか？

スキープログラム

スキー本来の楽しさを引き出し、それを伝えるスキルを持っていることが指導者の条件です。

カナダのスキー技術は自然の環境、状況に合わせて滑ることを重点に置いています。そのため、カナダの人々は自然の環境下で行うスキーというスポーツを全身で体感し、満喫しています。そんな彼等をリードすることが、インストラクターやガイドの役割であり、技術向上だけを重視するのではなく、スキーというスポーツ本来の楽しさを引き出しながら、アドバイザー的役割を果たせることがプロフェッショナルの条件です。



- 基礎、レーシング、フリースタイル、バックカントリーをバランスよく学べる環境
- 資格取得とスキースクールでの実務経験で、英語での実践的な指導力を習得
- レーシングやモーグルチーム、カナダスキー協会との連携によるサポート体制
- １１月～５月末まで、遠征を入れると年間９か月滑れる世界でも有数のロングシーズン
- スキーを通して、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲資格取得と理論の指導だけで、現場で活躍できるトレーナーは育つのでしょうか？

スポーツトレーナープログラム

Sports Trainer Program

知識や資格と並行してトレーナーに最も重要なのは、人と人とのコミュニケーションスキルと実践の場を多く経験することです。

フィジカルトレーナーに必要な基礎と実践をバランスよく学びながら、世界で活動できるトレーナーを目指すプログラムです。授業ではベースボールキャンプなどの実務経験を通してコミュニケーション能力を養っていく他、北米で活躍する多くのトレーナーと接することで自身の未来を描いていきます。
ＣＳＢＡでは専門知識は勿論、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などビジネススキルも学びます。

- 日本語と英語でトレーナーの基礎知識をしっかり学ぶ
- 多種スポーツを体験しながら、選手の目線でスポーツを理解する
- ベースボールキャンプやアスリート管理を通して、実践の場を多く経験する
- 専門知識の他、プレゼンテーション能力などのビジネススキルを学び将来に役立る
- スポーツトレーナーを目指しながら 、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

▲ 有名なコーチからコーチングを受ければプロゴルファーになれるのでしょうか？

ゴルフプログラム

目標達成に必要な課題を指導者と選手が共に理解しながら、実践的に取り組むことが必要です。

未来の姿を思い描く思考力を養いながら、目標に合わせた実践的なトレーニングができる環境です。生徒の目的とレベルに合わせて、的確な目標設定を行い、生徒自身が理解して取り組んでいきます。選手を目指す人には、年間２０試合程度の大会出場が可能、インストラクターを目指す人には、資格取得とゴルフ場での実務経験も可能です。技術向上を行いながら実践的に学べるようサポートしています。

- 宿泊先からゴルフ場までは、自転車で通える距離にあり、いつでも練習が可能
- 必要に応じて日本人とカナダ人のコーチングをバランスよく受ける
- ９時まで明るくいつでも練習とラウンドをバランスよく取り組める
- 定期的に北米での遠征を行い、多種ゴルフ場、ゴルフ文化を学ぶ
- ゴルフを通じて、グローバルに生きる語学と考え方を身につける

語学指導

スポーツの技術向上を行いながら資格取得やワークプログラムを通して実践的な英語を習得します。

CSBA では興味のあるスポーツを通して英語を学ぶようプログラムを構築してき ました。それは第一に英語が不慣れな人にとってはスムーズに英語に触れるきっかけとする部分、第二に、専門知識をより深く探究する中で資料を読んだり、コーチに質問するなど必然的に英語が関わってくるという部分、第三に、選手ではイ
ンタビューに対応したり、指導者では実際のレッスンで使う際に、プロフェッショ
ナルとしてレベルに伴った英語が必要だと生徒自身が理解し行動することです。自らが質問事項や課題を用意し授業に参加してください。本校の授業では、より実践的に英語を学びたい方のためにサポートができるように講師が準備をしているもので、ただ参加するだけで英語力がつくというものではありません。

CASI

スノーボードの指導資格には英語での指導が義務付けられます。雪上で約２０分の英語での指導を行います。

CSIA・PSIC

スキー指導資格には英語での指導が義務付けられます。雪上での英語での指導を行います。

野球キャンプ

トレーナープログラム生の実習として参加します。選手、コーチとの英語でのコミュニケーションが重要です。

TOEIC

Test of English for International Communication の略で、日本で認知度が高い英語の試験です。

ケンブリッジ

Cambridge English Language Assessmentの略で、主にヨーロッパで認知度の高い試験です。

コープログラム

２年目の生徒が授業に参加しながら、実務経験を行うプログラム名を別名でコープと呼んでいます。

見えに英語を実際に使う場所を提供する事を最重要に考えています。

本校では無理なく実際の場で英語を使えるように、全滞在期間を４ステップに分 けて段階的に進めていきます。 ステップ１(Cycle) は滞在の全工程の流れを理解 しながら、英語に慣れる機会を増やします。大会などのボランティアを学校が斡 旋し英語環境に慣れていきます。ステップ２(Strength) は積極的に自らが行動し 始める時期で、興味のある仕事環境や大会に生徒自身がアプローチして参加できるようサポートします。ステップ３(Balance) は応用に入る時期ですが、実務経験 の中でスポーツと英語をバランスよく行えているかを確認しながら進めます。そ してステップ４(Action) は、生徒のゴールにより近づけた実務経験の中で英語を 実践的に使っていきます。

アスリートの活動に合わせESL（英語クラス）の時間を組みます。

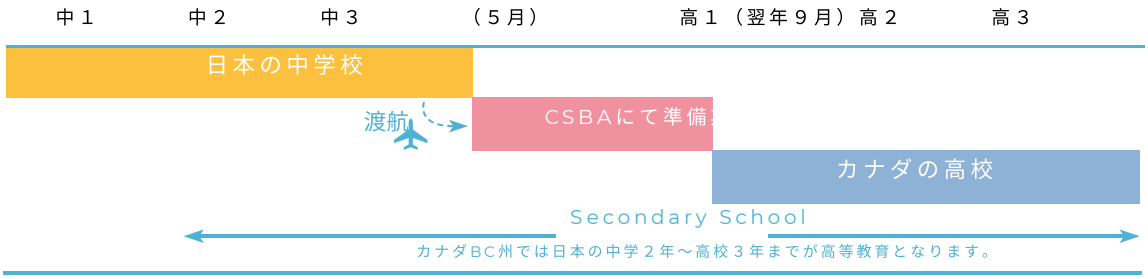
本校では英語をスポーツと同様に重要視してますが、生徒によってはアスリート、インストラクターとしてのトレーニング、資格試験、技術向上に欠かせないスケジュール等を優先しなくてはならないことがあります。それぞれのプログラムに
おけるメインシーズン（ゴルフ、アウトドアは夏季、スキー、スノーボードは冬季）
においては英語の時間をずらしたり、オフシーズンと比べて少なくしたり、また特別な遠征やイベント時には公欠とするなど、生徒の目的と目標を確認して臨機 応変に対応しています。 またオフシーズン中に英語の授業の単位と同等の課題を 設け、卒業に向けて生徒自身が準備して単位を取得できるようにサポートしています。

カナダの高校・日本の通信制高校

BC州の高校進学・日本の通信制高校という選択肢

CSBAでは、英語やスポーツを学びながら、一人ひとりの目標に合わせた学び方を選択できます。英語やカナダでの生活に慣れた後、翌年度からBC州の高校へ進学する生徒や、日本の通信制高校に在籍しながらCSBAで学ぶ生徒もいます。海外生活を経験しながら、高校卒業資格の取得や競技活動との両立を目指すなど、それぞれの進路や目的に合わせた学びのスタイルが可能です。

ウィスラー高校入学の流れ



サポート体制

BC 州では未成年の留学生には保護者代理人が必要です。

留学にはカナダ在住者がガーディアン（保護者役）となることが義務付けられています。
カナダ国内での緊急時にお世話をする人のことで、 本校のディレクターが行います。

私生活

カナダの家庭の中に入り、ホームステイとして生活をします。ジュニア生には他の生徒とは異なり、起床、掃除、その他自己管理ができるよう私生活での指導を行います。

高校生活

カナダはマルチカルチャリズム（多用文化主義）でカナダ人以外の生徒も多く在学しています。大学と同様クラスはありませんので、友達作りは自分から積極的に行動して下さい。

アスリート

ウィスラー環境からもわかるよう、多くのアスリートが在学し世界に出ていますが、決してスポーツ英才教育をしているわけではなく、スポーツが生活の一部になっています。

ウィスラー高校ではスポーツ進学制度を導入しています。

バンクーバーオリンピック後、世界を目指してウィスラーの高校に入学する生徒も増えています。
遠征などが多い近年のアスリート環境を理解し、アスリートを全面的にサポートしています。

▲ウィスラー高校進学卒業生のインタビュー

世界レベルのライダーと触れ合い、スノーボーダーとして、自分のスタイルと未来を明確にできた。

日本の高校に一度入学しましたが、どうしてもプロスノーボーダーを目指してみたいという思いが強く、CSBAのジュニアアスリート＋カナダ高校進学プログラムへ留学を決めました。１年目は自己管理ができるように私生活からトレーニングの部分までの指導を受けました。カナダでは待っていては何もしてくれません。人とのコミュニケーションを大切にしながら、必要な時にはYes, Noをはっきりと伝えなくてはなりません。日本にいた頃には考えられないほど英語も上達し、スノーボードのテクニックも身につきました。特に大きく変わったのは海外の選手と触れ合うことで、それぞれの生き方を目の当たりできたことです。メンタルトレーニングでは、目標設定、思い描くこと、考えて取り組むことが大切だと学び、卒業時には自分の未来を描けるようになっていました。これからも自分のスタイルを大切に、世界で一人しかいないスノーボーダーを目指して、業界の発展のために頑張っていきたいと思います。

ウィスラー高校卒業

阿刀暖

プログラム　スノースポーツ（スノーボード）＋高校へ進学

留学期間　４年３ヶ月

スキーも学校生活も待つくいたら駄目。カナダ留学で自ら行動するようになった。

小さい頃から双子の兄弟とアルペンスキーを行っていました。兄弟が高校留学をすることになり、自分は別の場所にということでアルペンスキーができてスポーツも専門的に学べるCSBAのジュニアアスリートプログラム＋カナダ高校進学プログラムを決めました。CSBAではまずカナダの環境を自分自身で最大限使えるように英語と文化に慣れながら、自己管理ができるように指導を受けました。それは最終的に地元のアルペンスキークラブであるウィスラーマウンテンスキークラブでのトレーニングや高校生活を自分自身で取り組み、どのような時にも対処できる力をつけることでした。初年度こそペースをつかめないこともありましたが、次第にＦＩＳの大会遠征、コーチとのコミュニケーション、高校での授業への参加など次第に自分自身で考えて取り組めるようになってきました。まだまだ未熟ではありますが、北米の選手と対等に戦えるようになり、英語力をつけて自分の人生を切り開いていきたいと思います。

ウィスラー高校卒業

ウィスラーマウンテンスキークラブ所属

田續渉

プログラム　スノースポーツ（スキー）＋高校へ進学

留学期間　４年３ヶ月

▲ウィスラー高校進学卒業生のインタビュー

スノーボードをきっかけに広がった、世界への進路

「海外で学びたい」という思いから、スノーボードを通じてカナダへ留学することを決め、CSBAに入学しました。最初は海外生活にも不安がありましたが、CSBAでは自分で考え行動する力や、海外で生活するために必要な主体性を身につけることができました。
その後、ウィスラー高校へ進学し、多様な文化や価値観に触れながら学びを深める中で、自分の将来について考える機会が増えました。授業や学校生活を通して英語力も向上し、世界中から集まる仲間との交流は、自分の視野を大きく広げてくれました。
現在は**ブリティッシュコロンビア大学（UBC）**に進学し、新たな目標に向かって学びを続けています。振り返ると、CSBAでの経験は、異文化の中で挑戦する姿勢や、自分の可能性を信じる力を育ててくれました。
スノーボードをきっかけに始まった留学は、大学進学という新たな夢へとつながりました。これからも世界に目を向けながら、多くのことに挑戦し、自分らしい未来を築いていきたいと思います。

ウィスラー高校卒業
University of
British Columbia 大学進学
渡邉 虎太郎

プログラム　スノースポーツ（スノーボード）＋高校へ進学

留学期間　４年３ヶ月

アルペンスキーを通して学んだ、自立する力

アルペンスキーを続けながら海外で学びたいという思いから、CSBAへ留学しました。日本の通信制高校に在籍しながら学業と競技を両立し、冬はウィスラーマウンテンスキークラブでトレーニングを積み、FIS大会にも出場しました。夏にはゴルフやアウトドアアクティビティを通して、カナダならではの豊かな自然を満喫しながら充実した毎日を過ごしました。
留学当初は、英語や海外生活への不安もありましたが、日々の生活を通して少しずつ自己管理ができるようになり、自分で考え行動する力が身についたと感じています。競技だけでなく、人として大きく成長できたことが、ウィスラーで過ごした時間の一番の財産です。
現在は**法政大学へ進学し、体育会スキー部で競技を続けながら大学生活を送っています。**CSBAで培った主体性やチャレンジする姿勢は、大学での競技や学びにも大きく活かされています。
海外での挑戦は決して簡単ではありませんでしたが、一歩踏み出したことで得られた経験や仲間との出会いは、これからの人生にとってかけがえのない財産になっています。

ウィスラー高校卒業～
法政大学進学
ウィスラーマウンテン
スキークラブ所属
田澤佑紀

プログラム　スノースポーツ（スキー）＋高校へ進学

留学期間　４年３ヶ月

▲コープビザで実務経験をした生徒のインタビュー

スキースクールの実務経験と世界中のスキーヤーとの触れ合いで、新しいスキー観を発見できた。

幼少時からアルペンスキーを志し、オリンピックを目指し、常に速く滑る ことだけを追いかけてきました。この経験をもっと広げたいと思い CSBA
入学しました。当初は２年目に仕事をする予定でしたが、スタッフの勧めで１年目のシーズン最初にレベル１と２を取得。COOPビザでスキースクールでの実務経験を行う機会を得ました。インストラクターの経験の無い私は、初心者へのレッスンが主でしたが、英語でのレッスンは簡単ではありません。また世界中から訪れるお客様を見て、この一瞬がお客様にとってとても大切な時間だと思うと緊張の連続でした。とにかく楽しい時間を過ごして欲しいという一心でした。スキースクールでは幾つかの新人教育に参加します。特にゲストサービスと安全面に関する部分は徹底されていました。スキーが世界の方々にこれほどまでに人気のスポーツであること、そしてその理由がよく理解できた実務経験でした。この経験を生かし、日本のスキー業界に恩返しをしたいと思います。

法政大学社会学部
体育会スキー部卒業
インターハイ１１位
CSIA Level3

根岸志帆

プログラム　スノースポーツプロフェッショナル（スキー）
留学期間　２年

カナディアンとの仕事はコミュニケーションが命。

フリースタイルの有名なカナダのウィスラーで一度は滑ってみたいという気持ちを常に持っていました。弟がCSBAに留学すると聞き、自分も黙ってはいられず、後を追うように入学を決めました。１年間という限られた時間、とにかく体験できることを全て行うと決め、入学後の夏からプライヤーというウィスラーのスキー／スノーボードメーカーでアシスタントをすることになりました。英語の授業を公欠にしてもらい、学校とスキー工場を往復する毎日が始まりました。スキーを製造する工程を一つ一つ教えてもらい、最終的には自分でスキーのベースを削ることができるようになりました。ここでの仕事はハードでしたが、陽気なカナディアンとの仕事は疲れを感じさせることがないほど楽しい時間でした。仕事は専門知識が重要だと思っていましたが、実際には専門知識以上にチームワークが大切で、そのチームワークを築くために人と人が分かり合うコミュニケーションが重要であると感じた実務経験でした。

東京都立産業技術高等専門学校
医療福祉科卒業見込み

政井督史

プログラム　スノースポーツプロフェッショナル（スキー）
留学期間　１年

年間イベントカレンダー

自然に身体が動き出す、年中休まないアウトドアフィールド、ウィスラーの大自然全てがキャンパス

※写真提供：Tourism Whistler

5月

入学式
オリエンテーション
バンクーバーショッピング
体力測定

6月

ハイキング
グレーシャーキャンプ
カナダプロゴルフテスト
マウンテンバイクルーニーレース

7月

カヌー川下り
ファーストエイド講習
トライアスロンボランティア体験
ゴルフチリワックオープン
ゴールデンイヤーズオープン
マウンテンバイクルーニーレース

8月

セーリング講習
ゴルフ体験
クランクワークスボランティア体験
ゴルフバンクーバーオープン
ゴルフオカナガン遠征
マウンテンバイクルーニーレース

9月

ソフィノオントボランティア体験エクスペディション
キャンピング
マウンテンバイクルーニーレース

10月

秋休み

11月

冬季プログラム開始オリエンテーション
体力測定
スキー場オープン

12月

スキー／スノーボードレベル１資格試験
ＦＩＳレース開幕

1月

冒朋講習
ピークTo バレースキーレース
ゴルノバリソア遠征

2月

スキー／スノーボードレベル２資格試験
その他 各種資格／コース受講
ゴルフウィンターツアー参戦

3月

ハッシカントリー
卒業制作プレゼンテーショ
ン卒業式

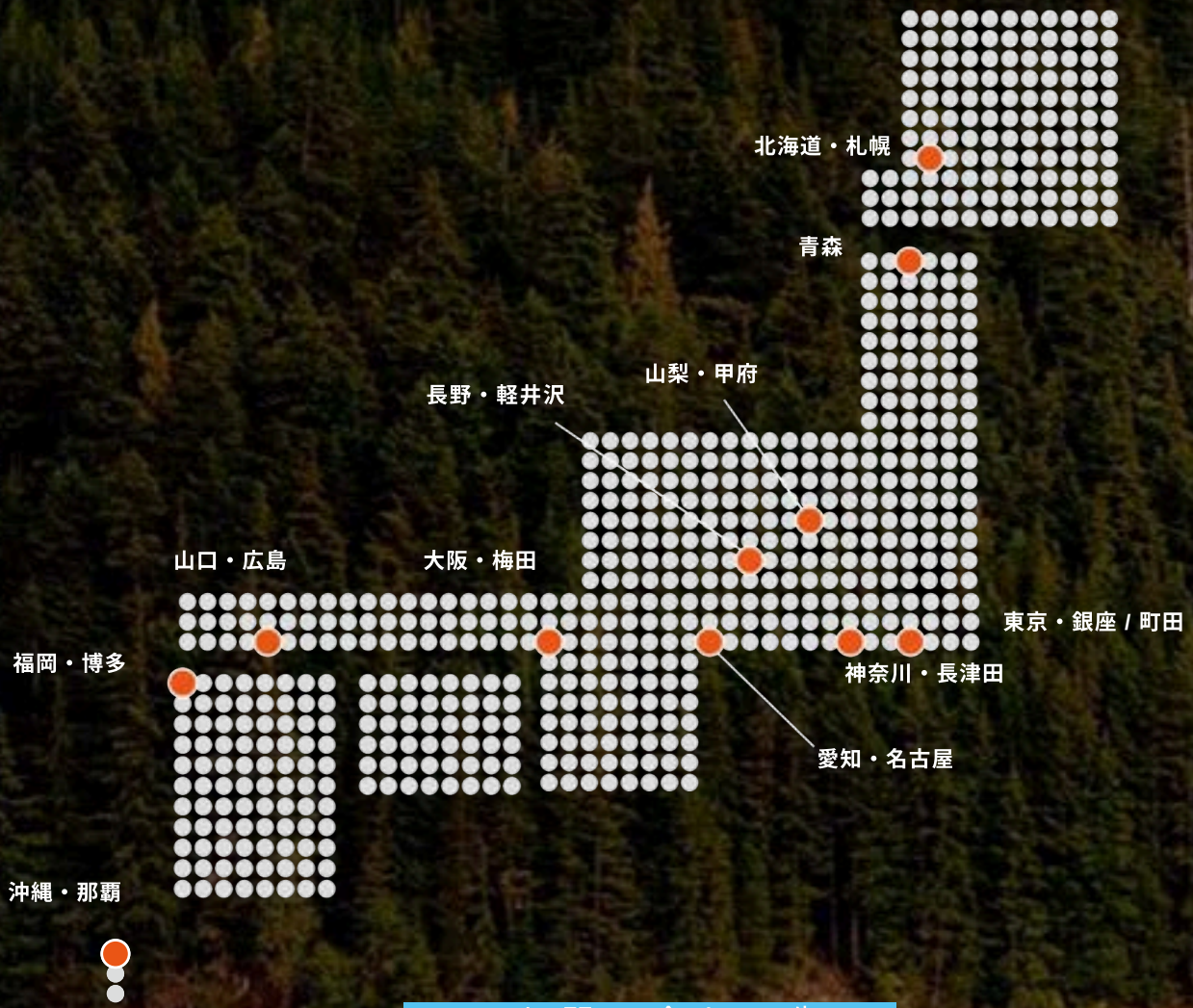
4月

春休み
スキー/スノーボードレベル３・４試験
スキー/スノーボードワールドフェスティバル
ゴルフサマーツアートーナメントスタート

全国学校説明会 & カウンセリング

毎年１０月、２月、４月に学校長あるいは本校スタッフが日本全国でカウンセリングを行っています。プログラム内容、現地での生活、その他不安な点などがございましたらこの機会にご確認ください。

開催地



お問い合わせ先

カナディアン・スポーツ・ビジネス・アカデミー

TEL：(０５０) ５５３２−９９４６

E-mail：csba@csbawhistler.com

www.canada-sports.net

大半の人は「環境を大きく変える」という事に、
多くの不安を感じます。英語が全くできない、
体力やスポーツ技術に自信が無い、
友達と交流するのが苦手、、などです。
今世界で活躍している卒業生達も、
皆同じ気持ちでカナダに来ました。

「失敗を恐れず挑戦する人には必ず結果がついてくる。」

そう信じて皆さんも大きな一歩を踏み出してください。

Canadian Sports Business Academy

カナディアン・スポーツ・ビジネス・アカデミー

ウィスラー本校

#202-4295 Blackcomb Way,
Whistler, B.C, CANADA V0N 1B4
カナダ・バンクーバー空港より北へバスで２時間
TEL: 604-932-0404
Email: csba@csbawhistler.com URL : www.canada-sports.net